



嵯峨の福祉

第145号

嵯峨自治会連合会
嵯峨社会福祉協議会

嵐山月灯路へのご協力、ありがとうございました

一般社団法人 嵐山保勝会 会長 牧野 順二

嵐山では、2005年から2021年まで京都市が主催する『京都・嵐山花灯路』が行われてきました。今回の『嵐山月灯路』は一部を有料にすることで、その収益を地元・地域に環流するイベントとして開催を試みたものです。嵯峨自治会連合会会長はじめとする役員の方々には、主催である嵐山保勝会・地元商店街・竹林を維持管理する団体等と共に、当初の企画から参加していただきました。収益の一部は嵯峨嵐山地区の景観保全（竹垣の維持管理等）やオーバーツーリズムによる諸問題（近隣のごみ箱の設置や観光マナー向上への啓発活動等）への費用に充てることを目的としております。

初めての試みの為、地域の皆様にはご迷惑をかけた部分も多くあったかと思いますが、連日2千人を超える来場者で溢れかえり、大盛況のうちに終えることができました。意見が対立しがちな商店街と地元自治会が団結し、さらには行政の右京区役所の協力のもとでのイベント開催の成功は京都市でも例をみない事で、主催者として大変喜ばしい限りです。

『嵐山保勝会』とは読んで字の如く『嵐山の景勝を保つ会』なのですが、設立は古く1934年、『保勝会』という名称としては日本でも最も長い歴史を持つ会です。会員は主に商店・旅館・社寺・公共交通機関各社。初期は嵯峨小学校の中に事務所があったと記載があります。当時は渡月橋・大堰川沿いに旅館や商店がまばらにあるだけで、嵯峨地域一帯には農地が多くありました。設立当初の会の目的は、この地の発展と振興（活性化）が一番で、二番目に景観の保全でした。祭りや観光行事を充実させ、地元の名産品を創り、観光地として活気づけたいという往時の人々の想いをもとに、組織を立ち上げたのだと思います。それから90年を経て、現在の嵐山は世界を代表する観光地へと発展を遂げました。様々な商店が立ち並び、一年中観光客で溢れかえり、農地の多くは宅地に変わり、新しい住民も増えましたが、同時にオーバーツーリズムによる諸問題が顕著になり、近年はそれに対する取り組みが会の優先事項になっています。



今回のイベントの成功を機に、地元住民の方々の代表である嵯峨自治会連合会の皆様と共に、オーバーツーリズムや地域の諸問題の解決にも取り組み、この素晴らしい景観や環境を守っていきたいです。その先には『住んでよし、訪れてよし』の嵐山の未来が開けてくるのではと夢や期待が膨らみます。

愛宕古道街道灯し 地域と子どもたち

鳥居本町自治会 子ども会 深井 理紗子



5年生製作



5年生の作品



6年生製作



6年生の作品

愛宕古道街道灯しは今年で30周年を迎えます。夏の夕暮れ、旧愛宕街道を照らす数えきれないほどの行灯のあかり。今年も千灯供養や地藏盆に合わせて行われ、家族で参加できることをとてもありがたく感じました。行灯づくりや点灯を通して、子どもたちが地域の伝統や人とのつながりを自然に学んでいく姿は、親として本当に嬉しいものです。小さな頃はただ楽しそうに走り回っていた子が、年を重ねるごとに少しずつ役割を担うようになり、その成長を間近で感じられるもののお祭りならではの喜びです。八百基もの灯りに包まれた街並みは幻想的で、「子どもたちの未来もこんなふうに温かく照らされてほしい」と願わずにはいられません。30年という節目に立ち、地域と共に子どもを育てていけることへの感謝の思いが、改めて胸に込み上げてきました。30周年をお祝いし、太秦のひょっとこ踊り、鳴滝の和太鼓の演奏もありました。



左のQRコードから
全ページのカラー誌
面がご覧になれます。

題字左のカット画像は、吉川祥子さんをお願いしております。

令和7年度 嵯峨学区の敬老交流会

やっと爽やかな季節になり曇り空でしたが10月18日（土）、嵯峨学区の敬老交流会が嵯峨小学校の体育館で開催されました。参加者はご来賓、出演者やお手伝いのボランティアスタッフを含め初めて300名をこえました。なかには高齢者施設の方々や車イスでのご参加もあり、付き添いの方にも大変お世話になりました。

嵯峨自治会連合会会長の開会の挨拶を皮切りに、右京区長はじめ来賓の方々の長寿を祝うスピーチを頂き皆さん勇気付けられました。

プログラムは、30数人による女声合唱団「うたの広場」の皆さんによる歌から始まりました。高齢者が殆どで、揃って練習することも少なかった中で、♪明日という日が。♪琵琶湖周航の歌。♪もしもピアノが弾けたなら。など6曲を透明感ある歌声で頑張って歌って頂きました。途中♪幸せなら手をたたこうの歌で、会場みなさんも手をたたいたり、足をならしたり、肩をたたいたりこぼれんばかりの笑顔で、会場は盛り上がりしました。

次は嵯峨小学校4年生の児童の出番。挨拶に続き、高齢者へのお手紙朗読、ビデオによる合唱、ステージで披露された可愛らしい「よさこい踊り」、息もピッタリでした。ハキハキした話し方や決めてのポーズで拍手喝采。

続いて嵯峨中学校の和太鼓連による演奏がありました。大迫力！！心にも、お腹にもジーンと響きました。中には感動して涙ぐむ方もおられたほどで、盛大な拍手が起こっていました。

最後に嵯峨社会福祉協議会会長の閉会の挨拶で締めくくられました。

会場の後ろには、「たくろう会」に参加しておられる皆さんや、健光園、嵐山寮などからも寄せられた、手作りの作品の展示がありました。お土産として、児童からの手紙、栗入りのお赤飯、焼き菓子をお持ち帰り頂きました。参加された方からは、「楽しかった。元気をもらいました」「来年もまた来るね」などの感想をいただきました。年に1度ではありますが、お誘いあわせの上、一度覗いてみてください。心よりお待ちしております。



令和7年度 嵯峨学区総合自主防災訓練

9月14日（日）嵯峨小学校で、262名の参加のもと自主防災訓練が行われました。嵯峨学区で、震度5の地震が発生したという想定で、各地域の集合場所から自主防災部単位で嵯峨小学校に集合するという設定です。

火事で亡くなる方の約半数は煙が原因と言われています。本館北側で煙道を体験することにより、煙の怖さを痛感できました。

そのうち、3か所に分かれて訓練を実施。

① 心肺蘇生とAEDの使用方法の実習

1年に1度、再確認しておくことが必要と思いました。

② 応急措置的な止血方法の実習

圧迫止血と骨折処置について学びました。

③ 災害用マンホールトイレの説明

実際に避難所で使えることが肝要と感じました。

※災害用マンホールトイレとは。

災害が起きると水洗トイレは使うことができません。

嵯峨小敷地の北西にあるマンホールに、トイレを設置することができます。実際、能登大震災でもトイレが喫緊の問題になりました。いざという時のために各自簡易トイレの準備も必須です。



嵯峨の由來

第137号よりスタートした国際日本文化研究センター名誉教授である早川聞多さんによる「嵯峨の由來」シリーズ、第7回目は嵯峨の文藝です。
なお、早川さんは嵯峨小学校卒業生です。

嵯峨の文藝 (中)

(3) 『平家物語』「祇王が事」・往生院の祇王寺に住む

都で有名な白拍子、歌ひ舞る遊女であつた妓王は平清盛(1118~1181)の寵愛を受け、妹の妓女や母の刀自と共に丁重に扱はれ何不自由なく暮らしてゐました。しかしやがて清盛の寵愛は白拍子の佛御前に移り、妓王を召されなくなりました。そもそも清盛の前で舞りたいと申し出た佛御前を、清盛が不快に思つたところを取り成したのは妓王であつた。それを恩義に感じてゐた佛御前は清盛に妓王を召すやうに促したところ、清盛の怒りを被り、妓王を追ひ出せと命じました。自殺を考へた妓王でしたが、母の刀自の説得で思ひ止まり、母と妹と共に嵯峨の往生院の庵(現祇王寺)に隠もり佛門に入りました。やがてこの世の榮華は儚ひものと悟つた佛御前も、清盛の元を去つて妓王たちの元を訪れやはり佛門に入りました。



祇王寺の妓王、妓女の墓

(4) 『源平盛衰記』「横笛の事」・往生院の瀧口寺

平清盛が催した花見の宴において、北面武士の齋藤時頼が建礼門院の侍女の「横笛」を見染め戀文を送るやうになりました。それを知つた時頼の父は、「お前は平家一門の身でありながら、横笛ごときに思ひ染めるか」と厳しく叱られ、時頼は仕方なく往生院に入り、瀧口入道と名乗り出家しました。それを知つた横笛が訪ねてゆくと、佛門に入つた瀧口入道は面會を拒絶します。それを知つた横笛は出家したとも、嵐山の千鳥ヶ淵に入水したとも言われます。

(5) 『小倉百人一首』藤原定家(1162~1241)・小倉山莊(厭離庵)

先回の「嵯峨の川と橋」に記したやうに、藤原定家は嵯峨の小倉山莊に来る際して、西京から廣隆寺西門前に出、大堰川で舟に乗り法輪寺橋あたりに着き、そこから嵯峨大路を北に上つて清凉寺の仁王門に突きあたり、その西門から小倉山に向かつて中院町の中程、そこを北へ奥まつた竹林の中に山莊がありました。

定家の別莊の隣に僧蓮生の中院山莊がありました。蓮生は俗名を宇都宮勳綱(1178~1259)といひ、下野国の豪族で鎌倉幕府の有力な御家人でしたが、政争に巻き込まれることを避けて出家し、嵯峨に山莊を営みました。蓮生は和歌の名手で定家と親交があり、定家の子爲家に娘を嫁がせました。

定家の日記『明月記』の文暦二年(1235)五月には、蓮生は定家に山莊の障子に貼る色紙の執筆を依頼したとあります。定家は色紙一枚一枚に天智天皇以來の名歌を一首づつ書きました。當時は「小倉山莊色紙和歌」「小倉色紙」などと呼ばれてゐましたが、室町後期に連歌師の宗祇が著した『百人一首抄』によつて歌道の入門書として知られるやうになりました。また茶道が弘まるにつれ、「小倉色紙」を茶室に飾ることが珍重されるやうになり、武将の宇都宮鎮房が豊臣秀吉配下の黒田長政に暗殺されたのは、鎮房が宇都宮氏に傳はる「小倉色紙」を秀吉に求められたのを拒んだことが原因だとされてゐます。さらに江戸時代になつて木版畫が普及すると、繪入の「百人一首カルタ」が廣く庶民に弘まりました。



厭離庵の「柳の井」

この広報誌は皆様のご好意、ご協力をえた社会福祉賛助会費および共同募金の財源を活用し発行しています。



◆今回は【適度な運動】

～今日から始めませんか？プラス10分の運動～

適度な運動は骨を丈夫にし、筋肉を強化することはもちろん、運動により消費エネルギーが増えるので、余分な体脂肪が減り、肥満予防・改善につながります。また高血圧や糖尿病、動脈硬化に対する予防・改善効果もあります。



毎日まとまった時間をつくって運動することは難しいかもしれませんが、体を動かす機会は日常生活のあちこちにたくさんあります。

まずは毎日、今より10分多く体を動かすことを心がけてみましょう。例えば10分歩くと約1000歩になります。「ウォーキング」は、いつでもどこでも自分のペースで安全に行うことができる運動です。

花ごよみ

金のなる木

「和名はフチベニベンケイ」

多年草 原産地：南アフリカ

開花時期：11月～2月

金のなる木は、乾燥や低温などの厳しい環境に適応し、世界中に分布するベンケイソウ科に属する丈夫な植物です。

和名はフチベニベンケイですが、もっぱら金のなる木、またはカゲツ（花月）として流通しています。

新芽が小さいうちに、5円玉の穴に通しておき、そのまま成長させて、5円玉が抜けられない状態にし、枝にお金になったように仕立てたものが流行しました。その姿から成金草とも呼ばれます。



嵯峨小児童の作品から



3年 奥村 弥也
『キラキラ光るシャボン玉』



4年 藤江 紗良
『きょうりゅうの谷のぼうけん』

社協・賛助会員ご加入のお願い

令和7年度賛助会員加入に
ご協力をよろしくお願い
いたします。

令和7年度 12月～3月行事予定表

嵯峨社会福祉協議会事業ほか

月	日	曜	行 事 内 容 など	備 考
12			令和7年度右京区社会福祉協議会賛助会員募集（1日～31日）	
	4	木	広報誌「嵯峨の福祉」第145号発行	②
	9	火	遠足	
	10	水	カフェ名古屋	③
	13	土	たくろう会（防犯教室）	嵯峨小コミュニティルーム
	16	火	カフェしゃか	①
1	6	火	カフェくるまみち	②
	12	祝	第15回「嵯峨小学校の児童と保護者のグラウンドゴルフ大会」	嵯峨小
	14	水	カフェ名古屋	③
	20	火	カフェしゃか	①
	24	土	たくろう新年お楽しみ会	嵯峨小コミュニティルーム
2	3	火	カフェくるまみち	②
	11	祝	カフェ名古屋	③
	14	土	たくろう会	嵯峨小コミュニティルーム
	17	火	カフェしゃか	①
	28	土	たくろう会	嵯峨小コミュニティルーム
3	3	火	カフェくるまみち	②
	5	木	広報誌「嵯峨の福祉」第146号発行	
	7	土	第32回講演のつどい	ホテルビナリオ嵯峨嵐山
	11	水	カフェ名古屋	③
	14	土	たくろう会（1年を振り返って、ガーデニング）	嵯峨小コミュニティルーム
	17	火	カフェしゃか	①

①すこやかカフェしゃか毎月第3火曜日10時～12時、西井頭町会議所

②カフェくるまみち毎月第1火曜日10時～12時、JR 嵯峨嵐山駅下ル 京都新聞販売所北

③カフェ名古屋 毎月第2水曜日10時～12時、大覚寺バス停の隣 社会福祉法人健光園内

【注】以上の予定は諸事情により変更となる場合があります。